

# 労働者への犠牲押し付けは許されない!

人員削減ではないと言うが  
これでは人減らしではないか?

二月二十二日にWLC  
SPの宮崎移管について  
会社から当該職場に説明  
がありました。

## 会社の説明

宮崎に行けない人につ  
いては次の二つです。

①早期退職優遇制度を利用する。ただし、適応退職日は各担当業務が宮崎への移管完了日とし、それ以前に辞めた人は自己都合退職となる

②退職しない場合は、多摩エレの請負業務を年内一杯してもらおう。製造業務でソフト勤務となる。

人数等も決まっていないので業務内容・勤務形態・指揮命令系統などの具体的な対応を多摩エレと協議し決定する。また、12月以後についてはどうするか決まっていない。

また、どちらかを選択し2月23日から始める3回目の個人面談で話し合い、各人の意向を3月12日まで明確にするとしています。

## 組合の説明とは異なる内容

組合の報告では「外部委託の仕事の内製化して、社員として仕事をしてもらう」という説明で今回の報告とは異なる内容です。これまでも会社は組合と協議もしないで事を進めたりして、その度に従業員から疑問の声が出ていました。

従業員質問に対して誠意の無い会社回答

Q 多摩エレの話はいつ組合に話したのか

A 組合には多摩エレと最初から言っている

Q 働かせ方が違法に  
ならないのか

A 違法にならないように検討している

Q 宮崎に行けない人について「拒否した人」と

言っているがそれぞれ事情があって行けない

のであり、あたかも身勝手であるような言い方はおかしい

A 無回答

Q (宮崎には行けないが)工場を立ち上げる為に

協力して宮崎に行き、工場が立ち上がった

戻す事はできないのか

A 出向というのが事業移管なので甘く考えてもらっては困るし戻って来れるかどうかは解らない

Q 管理部門やその他への影響はどうなるのか

A 未来永劫とは言われないが管理部門は(八王子に)残る

Q 八王子を今後どうするか

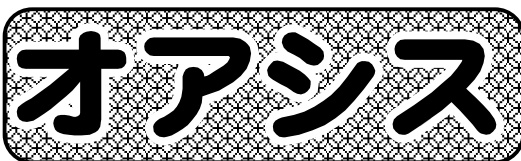
A 今言える事は何も無い

様々な質問が出されましたが、戻る当てのない片道キップの出向、スキルや技量に関係なく押し付けられる新職場など従業員の思いとはかけ離れた回答ばかりでした。また再質問しようとする、「団交の場ではないので議論する気はない」と

の態度は、従業員の声に真摯に対応しているとは言えません。

「宮崎移管は会社施策であり、従業員に大きな負担がかかる問題で、行けない労働者をわがまま呼ばわりするような言い方はおかしい。また、残りたい従業員全員を同じ職場とする必要も無い、ひとりひとりのスキルにあつた職場を検討すべき」との意見も出されました。

八王子の今後に重大な影響を及ぼす宮崎への移管、「今言える事は何も無い」では済まされません。ローム社(親会社)の責任も問われる問題です。



第29号  
2012.02

ラピスセミコンの職場を明るくする会

東京都港区三田3-2-20 TEL 03-3455-6006

<http://oakhp02.chottu.net>

ひとりで悩まずご相談ください

連絡先 加藤 090 1269 3273